

平成18年1月 定例教育委員会 会議録

平成17年度塩尻市教育委員会1月定例会が、平成18年1月27日、午後3時30分、塩尻総合文化センターに招集された。

会 議 日 程

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 教育長報告

- 報告第1号 2月の行事予定等について
報告第2号 後援・共催について
報告第3号 塩尻市成人式実施状況について

4 議事

- 議事第1号 塩尻市文化財の指定の決定について
議事第2号 要保護、準要保護児童生徒の認定について〈非公開〉

5 その他

- その他第1号 小学校における英語教育の充実について

6 閉 会

○ 出席委員

委員長	百 瀬 哲 夫	委員長職務代理者	百 瀬 道 能
委員	丸 山 典 子	委員	岡 本 た ま
教育長	藤 村 徹		

○ 説明のため出席した者

こども教育部長	赤 羽 修	こども教育部次長	丸 山 保
こども課長	酒 井 正 文	保育指導担当課長	大 野 田 や す 子
家庭教育室長	樋 口 千 代 子	生涯学習部長	武 居 和 雄
生涯学習部次長	神 戸 保	社会教育課長	白 木 進
平出博物館長	小 林 康 男	短歌館館長	山 崎 千 尋
スポーツ振興課長	竹 原 次 男	男女共同参画課長	山 田 昭 文
人権推進室長	青 木 弘 貴	文化会館館長	北 沢 久 男
文化会館副館長	川 手 て る 子		

○ 事務局出席者

教育企画担当課長	小 島 賢 司	教育総務課長補佐	鳥 羽 嘉 彦
----------	---------	----------	---------

1 開 会

百瀬教育委員長

定刻になりましたので1月の定例教育委員会をただいまから開会します。

年が新たになりましたので一言ごあいさつを申し上げます。先日、事務局から文科省が発表した教育改革のための行動計画の資料をいただきました。昨年10月に中教審の答申が出され文科省でも施策の具体化を急ぎ、行動計画が1月17日に発表されました。内容を見ると、フローチャートや図によって流れがわかりやすく示された見やすいものになっています。我々教育委員も見えない部分が多く、勉強させていただくためにも塩尻市の教育委員会の全体像が見えるようなビジュアルなものをつくっていただければありがたいと思います。

これは、昨年12月の定例教育委員会の後、教育委員で1年を振り返りながら教育委員会への評価はどうか、課題はなにか、これから力を入れていくことはなにかをフリートークで語り合った時に出た話で、この中では、教育委員として塩尻市の教育を評価できる事として、他市町村に比べ教育予算を厚くしていただき、様々な取り組みの中でも力を入れていただいているなかで、もう少し力を入れていくこともあるのではないかと各委員から話しをしていただきました。後ほど時間があれば、それぞれ委員さんから話しをしていただきますが、岡本委員さんからは福祉教育の課題として、小学校、中学校段階で単発的な教育ではなくカリキュラムに基づく教育ができないか、丸山委員さんからは、食育の問題、これも課題になっていると思います。また、音楽教育、音育という点でももう少し充実した取り組みができないものかなと出されました。百瀬職務代理からは、小学校の英語教育について企業の経営者としての立場から早い時期からの英語教育、国際理解教育が出され、教育長は現在取り組んでいる保育園、小学校の連携について、教育委員会としては一番大きな取り組みであり、更に充実した取り組みを拡大したいとのことです。私は、いろいろな教育的な問題がありますが、今の子ども達の基本的な生活スタイルが乱れ、特に家庭における子ども達の育ちが難しくなっている事を感じています。家庭、保護者、場合によっては企業にも協力していただかないと改善できないのではないかと思います。子どもの寝る時間が遅くなっているとか、あるいは朝ご飯を食べずに学校に来ている、テレビを見過ぎているのではないか、そういった点で基本的な生活スタイルを改善することは学校だけではできないことで、教育委員会として学校や企業の方を交えて呼びかけるイベントなどが開催できないかと考えています。

このような事を語り合いましたので、事務局で具体的な取り組みの方法をご検討いただければありがたいと思います。予算の策定期であり来月の定例会では説明もあろうかと思いますが、ぜひ施策に位置づけできるものは年度内に立案していただければありがたいと考えています。

今年も事務局の皆さんにはたいへんお世話になりますがよろしく申し上げます。

2 前回会議録の署名

百瀬委員長

それでは次第に従いまして、2番、前回会議録の承認で事務局からお願いします。

小島担当課長

前回、12月22日に開催された定例会の会議録について署名をお願いするものです。署名は、後ほどお願いします。

百瀬委員長

後ほど署名をとの事ですが委員の皆さんはよろしゅうございますか。

委員

異議なし。

百瀬委員長

はい。それでは後ほど署名をお願いします。

3 教育長報告

百瀬委員長

それでは、3番、教育長報告に入ります。

はじめに教育長から総括的な報告をお願いします。

藤村教育長

先ほど委員長から予算の話がありましたように、本日、こども教育部、生涯学習部の市長査定が終わったところであります。来年度の各施策に基づいた査定ですが、ここにいらっしゃる部課長さんの熱意、意気込みによりまして要求した内容がほぼ認められました。部課長さん方のご尽力に感謝をしたいと思います。

委員長から各委員のテーマについてお話をいただきましたが、来年度、事務局で考えている施策と委員のテーマにかなり重なる部分があり、これから互いに十分に意見を交わす中でよりよいものになると考えています。

江戸時代末期の歌人に橘曙覧(たちばな あけみ)がおります。「楽しみは」という言葉で始まる歌がありますが、「楽しみは朝起き出でて昨日まで仲良し花の咲けるを見るとき」というもので、これは天皇皇后両陛下がはじめてアメリカを訪問した平成6年の歓迎レセプションで、当時のクリントン大統領が発表したということであり、趣旨は、両陛下の訪問を契機に日米の緊密な連携によって、今までなかった大きな花を咲かせようという願いを込めた気持ちといわれています。我々の教育委員会事務局も2部体制になって2年目を迎えますが、みんなでがんばって成果としての大きな花を咲かせたいと、先ほどの委員さん方のテーマ、そして我々の施策の一致しているものがたくさんあるということで、それをふくらめてぜひ咲かせたいと思います。

以下、報告事項がありますがよろしくお願いします。

百瀬委員長

ありがとうございました。

○報告第1号 1月の行事予定について

百瀬委員長

それでは、報告第1号から順次進めてまいります。1月の行事予定について、子ども教育部からお願いします。

丸山次長

(資料に基づき説明)

- ・9日にCAPの大人ワークショップが先日開催された先生のワークショップに続き開催される。子どもと対象とする本番のワークショップは15日に開催されるが、参加が出来ないので希望のある方は、9日に参加をお願いします。
- ・22日には、児童虐待講演会が1時半から3時半まで予定されている。ご都合が付いたらご聴講をお願いしたい。
- ・次回の教育委員会は、事務局からお願いします。

小島担当課長

今回は、ご都合が良ければ2月23日の木曜日、午前9時30分からお願いします。

百瀬委員長

次に生涯学習部、お願いします。

神戸次長

(資料に基づき説明)

- ・12日に信濃の国大合唱フェスティバルが行われる。

百瀬委員長

ありがとうございました。質疑がございましたらお願いします。

岡本委員

2月の定例教育委員会は、午前中とありますが午後に変更できればありがたいですが。

小島担当課長

22日か24日の午前中はいかがですか。

百瀬職務代理

私は、23、24日はだめです。

百瀬委員長

22日の午前中で、ほかの委員さんはいかがでしょうか。

委員

大丈夫です。

百瀬委員長

それでは、2月の定例教育委員会は22日、水曜日の午前9時半でお願いします。

ほかにございますか。

委員

(なし)

○報告第2号 共催後援について

百瀬委員長

それでは、報告第2号共催後援について、こども教育部からお願いいたします。

丸山次長

(資料に基づき説明)

- ・24号は、子育て支援の関係で、柔道場で開催される。

百瀬委員長

社会教育課関係をお願いします。

白木課長

(資料に基づき説明)

- ・3件で、38号は終了、3月5日のカノラホール、第52回日本母親大会は、全日本規模の大会で長野市で開催されるもの。

百瀬委員長

はい。質疑等ございましたらおねがいします。(なし)

百瀬委員長

ないようですので、次へまいります。

○報告第3号 塩尻市成人式実施状況について

百瀬委員長

報告第3号、塩尻市成人式実施状況について、生涯学習部からお願いします。

白木課長

(資料に基づき説明)

- ・出席率65.4%は、裏面の過去10年間の中で最高となった。
- ・市民憲章の朗読は、会場の成人者を黙読に変更した。
- ・合唱は、塩尻幼稚園、塩尻めぐみ幼稚園から、はじめて塩尻東保育園に変更したが好評であった。
- ・はじめて恩師10人のビデオメッセージ、2名の手紙を発表した。
- ・協賛企業の記念品抽選会を新しく始めた。
- ・実行委員会の反省会議は、今後予定しており来年の内容に活かしたい。

百瀬委員長

私も成人式に出席して、新しい企画があり非常によかったと印象を持ちました。委員の皆さんから感想、ご意見等ございましたらお願いします。

丸山委員

榎川村では、成人式が夏に行われてきてたくさんの来賓の方があいさつをされ、参加者もきちんと話を聴いていると聞いていました。今回の成人式でも声をあげた参加者がいましたが、最前列の榎川地区には、そのような参加者はあまり見られませんでした。ぜひ榎川地区の参加者の意見や感想を聞いてみたいです。

百瀬委員長

榎川地区の参加者はそうだったですね。

ほかにございましたらお願いします。

百瀬職務代理

檜川地区では、今も地区で成人式をやっていますか。

白木課長

昨年、平成17年は、すでに合併していましたが公民館関係者から地区最後の成人式を開催させていただきたいと声があり、昨年地区成人式が実施されています。したがって、今年度は2回開催されています。

檜川地区からは、50人中36人出てきていただきましたが、平均の出席率よりは高く、良く出てきていただけたと思っております。

百瀬職務代理

丸山委員さんからもありましたが、市長のあいさつはわずか1分ほどですが、その短い時間をなぜ黙って聴いていられないかと思えます。司会者からも静粛にしましょうとありましたが、前の人をつついたり話しをしたりと黙ってられないんですね。短い時間でもあり保育園の子どももじっとしているわけですから、司会者からの徹底など方法を考えていただきたいと思えます。

企業からは、報告がされていましたが、パンフレットも渡されていますので、必要ないのではないですか。

白木課長

当初は、時間もないのでお話をいただく計画ではありませんでした。調整が上手に出来なかったため実施することになりました。

百瀬職務代理

パンフレットの他にも一覧表も入っていますし、企業の方でもそんなに仰々しくしたいとは思っていないと思えます。

白木課長

今回の実行委委員会には、丘中学校の生徒会役員の皆さんがかなり出ていただき、高校の文化祭のパンフレットのような考え方で1升が3千円で企業の協力をお願いしました。

百瀬委員長

最終的な実行委員会の反省にもそのような点を報告していただきたいとおもいます。

それでは教育長報告は以上としまして、4番議事に入ります。議事は2点ございますが、2点目はプライバシーにかかわる内容がございますので非公開とさせていただきます。

日程を議事第2号についてはその他の後にし、議事第1号、その他の順に議題としたいと思います。よろしゅうございますか。

委 員

異議なし。

4 議 事

○議事第1号 塩尻市文化財の指定の決定について

百瀬委員長

はい。

それでは、議事第1号塩尻市文化財の指定の決定について、説明をお願いします。

白木課長

(資料に基づき説明)

- ・平成7年度の御柱から指定について意見があった。
- ・審議会委員は、御柱について研究を深めるため、視察等を実施した。
- ・平成17年度第4回の文化財保護審議会で指定決定した。
- ・1月6日には、市の庁議にて了承いただいた。
- ・指定基準として由来、内容に市民の基盤的な生活文化の特色を示す典型的な物として、無形民俗文化財とするもの。
- ・明治以降も地区内のお祭りとしてりっぱにされていることから、近隣の御柱と比較しても地域的なまとまりの良さが特筆できる。

百瀬委員長

ありがとうございました。ただいまの説明について、質疑等ございましたらお願いします。(なし)

前回にも詳細に説明をいただいておりますので、ご異論はないと思いますが、よろしゅうございますか。

委 員

異議なし。

百瀬委員長

それでは、塩尻市無形文化財として小野神社の御柱祭りを指定とすることで決定します。

議事を1件残し、その他に移ります。

5 その他(日程変更)

○その他第1号 小学校における英語教育の充実について

百瀬委員長

その他第1号、小学校における英語教育の充実について説明をお願いします。

丸山次長

(資料に基づき説明)

- ・中央教育審議会答申のほか、12月市議会、前回の教育委員会のご意見を受け、取り組みを始めるもの。
- ・英語教育としているが、教育は特区の取得を必要とするので、文科省のいう英語活動として充実したい。
- ・資料は、1月校長会で示し各学校へ投げかけをした。

- ・実施には、英会話に強い先生の確保が課題となるが、新年度予算が決定しほしい内容を報告したい。
- ・現在の英語活動は、総合的学習で取り組み、多い学校で年間30時間弱、少ない学校で20時間弱実施している。
- ・3人の先生が旧塩尻市内を分担しており、これを指定校では週1時間程度、年間約35時間実施できるようにしたい。
- ・指導計画案は、たたき台として検討しているもの。

百瀬委員長

標題は、英語活動となりますか。

丸山次長

英語活動です。

百瀬委員長

予算を伴うということで、決定事項ではありませんが、質問ご意見がありましたらお願いします。

丸山委員

先日のセンター試験でも、読み書きよりも聴くことが重視されています。小さな頃から英語に触れることは大事だと思いますが、保護者だけでなく一般の方も重点校が気になる部分で、指定されない小学校の子どもも中学校では重点校の子どもと一緒にいる段階で、市内の学校に格差が出てしまうことにはならないでしょうか。

それから、先日授業も拝見しましたが、英語圏の生活そのものを見聞きしながら理解していくことが大切だと言われています。言葉だけでなくあいさつの仕方や習慣等も含めて理解していくために給食時間、休み時間など、なるべく長い時間生活を共にすることができるよう勤務態勢でお願いします。

百瀬職務代理

予算の関係もありますが、AETの配置は考えていませんか。小さな頃から肌で感じる、覚えて記憶に残すことは大事だと思います。アメリカのOEMの納品先からISOの関係で5人ほど塩尻に来て私の会社にも1日いましたが、通訳は専門用語もあり話しをしても通じない点がありましたが、自分の娘は話せなくても専門的な知識がありポイント、ポイントで話しが通じました。英会話は、社員も怖じ気づいてなかなか話しができないし、忘れてしまうことが多いので、小さなころから文化も含めて外国の人にふれあいながら肌で覚えるような形がありがたいと思います。それには、AETの配置が大事だと思います。

丸山次長

AETは、平均で2月に1回か2回くらいしか小学校には行けませんでした。中学校1名体制になって月に2から3回くらいは入れるようになりました。西小学校では、修学旅行で浅草へ行って外国人と話しをしたり、ハロウィンでは外国人の人も多く来るのでそこで会話をしたりしています。

いろいろなテーマをつくり生でふれあう機会を多くする国際理解教育をしたいと

思います。

百瀬職務代理

日本人ではどうしても言葉だけになってしまい、外国人の雰囲気はわかりませんからね。

赤羽部長

現在は、小学校に日本人3人の体制ですがAETを含めて対応したいと考えています。

百瀬職務代理

ぜひお願いします。

岡本委員

小学校からの英語活動はぜひやっていただきたいと思いますが、ネイティブのAETの方が年間の中で24時間から30時間のふれあいがあれば一番よいと思います。AETが無理でも、たとえばゲストで塩尻市内に住んでいる方が来ていただくとかして、耳から聞く英語になれることが一番効果があると思います。中学校に入ってから、本格的にテキストを使って学習が始まりますが、そこでAETの先生の話す耳からの英語と自分の話すテキストからの英語に隔たりがあることをとても実感するのではないかと思います。中学生になってからは、日頃話したことのない慣れない発音に抵抗があると思いますが、小学校の時に日本語にないネイティブの発音にふれることで早く会話が習得できることもあるかと思っています。そのようなことで、ぜひネイティブの方とふれあう時間を考えていくことがよいと思います。生涯学習の中でも地元の外国人お方が教えています。国際理解講師は日本人だと思いますが、日本人であれば発音にも限界もありネイティブの方の発音とはどうしても違うと思います。国際理解講師に塩尻にいる英語圏の方の力を借りられたらと思います。

それから小学校で英語活動が始めることで、お母さん達も子どもを英会話教室に通わせなければいけないとか焦る気持ちが出てくると思います。あくまでもこれは中学につなげるための英語という点を何かの機会に話しをして、理解していただくようにご配慮をお願いしたいと思います。

丸山次長

小学校の英語活動の原点は、5から1の評価をしないということで考えていますので、保護者には説明すれば理解していただけると思います。

百瀬委員長

さきほど丸山委員さんから重点校という話がありましたが、指定校ということになりますか。

藤村教育長

今のところ各小学校で英語活動に10時間から30時間の格差があり、中学校にいかにつなげていくかを重点に考えたときに、10時間から一挙に30時間にしていくことは難しいと思っています。あくまで中学校につながることを重点に研究し

ながらやっっていこうということで、時間数の取れる学校として申し出があった学校で重点的に研究をしたいと考えています。来年度実施できれば初年度であり、重点校の研究を他の学校に還元しながら進めることが趣旨です。

百瀬委員長

重点校とせずに別の名前にした方がよいのではないですか。

藤村教育長

指定校がよいと思います。

指定校は、今年から始まる文科省の補助事業があり、どこかの学校を指定する必要があるために考えていました。

百瀬職務代理

檜川地区の小学校は、檜川中学校のAETが回っていますか。

藤村教育長

そうです。

丸山次長

学級数が少ない分、優遇された状態です。

百瀬職務代理

うらやましいですね。

百瀬委員長

校長会への協議の中で進めていただくようお願いします。

藤村教育長

よろしくお願いします。

百瀬委員長

そのほかにございますか。(なし。)

それでは、議事に戻りまして非公開の議事となりますので、報道の方は恐れ入りますがご退室をお願いします。

4 議 事 (日程変更)

○議事第2号 要保護、準要保護児童の認定について

<非公開部分削除>

5 その他 (追加日程)

○その他第2号 塩尻市男女共同参画基本計画の見直し素案について

山田課長

その他に追加でお願いしてよろしいですか。

百瀬委員長

はい、お願いします。

山田課長

さきほど資料を別紙でお渡ししましたが、男女共同参画基本計画の見直しについて、中間的な報告ができてきましたのでご覧をいただきご意見ををお願いします。

(資料に基づき説明)

- ・計画の推進状況の評価について、指標を含めたこと。
- ・国、県の見直し内容との整合をはかること。
- ・市の第4次総合計画、地域福祉プラン、子育て支援プラン等との整合を図ること。
- ・女性関係団体、市民アンケート、パブリックコメントを反映して策定すること。
- ・策定委員は、8名で5回の部会を開催した。
- ・今後の対応では、庁議が2月7日となっているが23日に訂正すること。
- ・素案5ページからのアンケート結果について説明
- ・同19ページからに目標数値を取り込んでいる。

百瀬委員長

ありがとうございました。質疑等がありましたらお願いいたします。

私からですが、審議会は市長が委嘱していますが、教育委員会の策定に対するスタンスはどのようになりますか。

山田課長

ご意見をいただき、計画内に反映していきます。

百瀬委員長

それでは、内容を見させていただきます。一点確認ですが、策定部会の名簿は全員女性ですが、こういうことでいいのかなと思います。

山田課長

生涯学習プランⅡの策定検討委員会の中に部会を設けており、検討委員が女性だけでした。

武居部長

委員の公募には、女性の方だけ応募がありました。

百瀬委員長

内容を確認していただき、ご意見ををお願いします。

○その他第3号 教育委員提言について

百瀬委員長

それでは、さきほど冒頭に申し上げましたが、各委員さんから具体的なお話をお話させていただきます。

岡本委員さんからお願いします。

○障害者教育の充実について

岡本委員

私からは、塩尻市の小中学校の福祉教育、そのなかでも障害者の福祉教育の充実について考えてみました。自分で考えたつたない案ですので、皆さんのご意見をいただければと思います。

はじめに現状と問題点ですが、昨年、国会で障害者自立支援法が成立しました。多くの障害者団体がそれに反対しましたが、これまで身体障害者、精神障害者、知的障害者と制度的に別々に扱われていたものが、一本化された点で評価されるという見方が大半です。その自立支援法の根底にある障害者の自立と平等、完全参加の理念に基づきまして、制度が実際に生きた制度となるように真のノーマライゼーション化を促進するためには、一人ひとりの心のバリアフリーが不可欠であるわけです。それには、児童期からの福祉教育、障害者に対する理解を深めることが必要になると多くの自治体でも認識されています。塩尻市でも各学校で総合学習の時間を利用して福祉体験教室の取り組みが行われているようですが、以下の問題点が上げられると思います。

一つ目は、各小学校、中学校の個別の取り組みになっているために、学校差、学年差、クラスによって学ぶ機会や内容に大きな差があります。実際に子どもが3人おりますが、それぞれに違った体験教室を受けていたようです。2番目は、障害者の中で主として身体障害者を対象としたものが多く、知的障害者や精神障害者についてふれる機会が少ないということが考えられます。第3に、身体障害者について学ぶ場合には、車椅子を利用したりアイマスクを利用したりするなどの疑似体験が多く取り入れられ、障害者の生の声を聴くというような交流する機会が少ないのではないかと思います。

私からの提案ですが、障害者福祉教育の重要性を再認識し、この9年間の義務教育の中で系統的に学べるようなカリキュラムを作成して、市内の小中学校で実施することにしたらどうかと考えます。実施にあたっては、もちろん予算もいることですので、教育委員会が予算を確保し、講師派遣についても事務的なことを教育委員会があたなければならないと思います。

具体的な方法は、塩尻市内のすべての子どもたちが9年間の間に同じ内容の障害者福祉教育が受けられるように、全市で共通のカリキュラムを作成する。二つ目として、障害者福祉教育カリキュラム作成の趣旨は、身体障害者、知的障害者、精神障害者についての正しい知識を得て、障害者本人又は障害者の家族から生の声を聴くことで、偏見を捨てて同じ社会に生きる仲間として認め合う気持ちを育てるところにあると思います。もちろん内容については、小学生、中学生の発達段階、理解の段階を考慮して内容を精査していく必要があると思います。カリキュラムの作成にあたっては、仮称カリキュラム作成委員会を発足させ、構成メンバーは教育委員会、校長会のほか各障害者団体、社会福祉協議会などの関係団体の代表者に集まってもらったらどうかと思います。カリキュラムを作成する際には、最初に各障害者団体の方に要望を聞いて、小中学生にどういったことを理解して欲しいのか、そういった内容の範囲とか、内容を理解するにはどのくらいの時間が必要であるかということを示してもらい、それから校長会の方から実際に小学校中学校の子ども達の理解の程度とか発達段階、障害者福祉教育に割ける時間数などがどれくらいあるかということによって内容の検討を行って、先ほども申しましたように教育委員会からは

具体的な講師派遣に、テキスト作成のための予算面の検討を行っていただきたい。そういった形で全市共通カリキュラムを作成して、その実現に向けて方策を練っていったらと考えてみました。

ただ、各障害者団体の生の声を最初に一つ確認するところまではいっていませんが、前にも申しましたように身体障害者ということはだいたい目で見て分かる障害が多いので、子ども達にも学習に取り組みやすい内容ですが、知的障害者とか特に精神障害者については、やはりとても難しい問題があります。実際に精神障害者の方もこんどの自立支援法が施行されて社会に出て行くわけですが、そこで一番壁になるのがそういう人たちへの偏見なんですね。アパート一つ借りるときも偏見に阻まれて自立を阻害している面もありますので、長い目で考えて子どもの頃から精神障害者とか知的障害者の見えない障害についての理解も深めていくことをぜひやっていただきたい。はじめは、たとえ1学年で1時間ずつでも9年間続ければ9時間になりますので、障害について学ぶということがなんとかできるかもしれないと思います。具体的な方法については、検討委員会を設けて行かなければいけないと思いますが、そのように考えてみましたのでよろしくをお願いします。

百瀬委員長

ありがとうございました。

今日は、聴いていただくということで質疑は取りませんがお願いします。

次に丸山委員さんをお願いします。

丸山委員

食育の提案ということでお願いします。

私がかねがね、子ども達が「いただきます」ということについて、命をいただくという深い意味を分かっていないのではないかと感じています。鳥インフルエンザでは、学校で飼っている鳥の処分方法が問題になりましたが、それを食べて生きていることへの理解があって、物を粗末にしない、残さずに食べるということにつながると思います。

先日も、「弁当の日がやってきた」という講演を聴く機会があり、年に数回だけですが5、6年生が食材を買いに行くことから始め、自分で自分の弁当を作る実践をされた校長先生のお話でした。それは、単なる体験学習ではなく、活動を通じて、食べ物の命をイメージできるようになるとか、家族に対する感謝の気持ちをもてるようになる、広く世界を確かな目で観られるようになるなど一石何鳥にもなる取り組みで、各地の学校からも講演を請われて活動を報告されています。

子ども達の生きる力を育むことは、難しい事だと思いますが、せめて自分の生活が自分でできるようにしていく教育は本当に必要だと考えています。野外活動も必要ですが、たとえば家庭の中で自分のことが将来できるようにするためには、実際に洗濯機やオーブンを動かすなど、一つひとつの所作を具体的に積み重ねないといけないことだと思います。また、子ども達の食生活の乱れが問題になっていますが、給食が唯一の栄養剤になっているといわれるように本当に進行していて、きちんと

食べていないことから精神的なバランスを崩し、結果として様々な事件が起きているともいわれ、そのような研究結果も発表されています。子どもへの栄養教育が困難ななかでは、感覚的にでもきちんとした物を食べることを教えていく必要があると思います。

講演された校長先生の著書には、今の子ども達は過保護に育てられていて、なにかしなければならぬ時もやらないことで自分を守り、結果的に危険が回避できない脆弱な子どもになっているとも指摘されています。このような無視できない問題についても、活動を通じて生きる意味や大事さが子どもだけに分かるようになる、食べ物を粗末にしないことができるようになる、子どもの感性そのものが磨かれる、人に喜ばれることを快く思うようになる、感謝の気持ちで物事を受け止められるようになるなどの効果が示されています。

この活動の実践には、スーパーマーケットへ連れて行くとか、失敗したら一からやり直したり、食べ物の影響について学習するなど大変なことだと思いますが、一つの事を学ぶことでいろいろな事に広く波及する大きな学習効果がありますので、大事に考えていく必要があると考えて提案しました。

もう一点ですが、テレビの見過ぎることで子ども達への影響が心配されていますので、保育園を含めてノーテレビデイ運動の普及を進めていただけたらと思います。今日の市民タイムスにもノーテレビデイとして載っていましたが、保育園のお母さんが活動を進めたという内容で紹介されていました。テレビの正しい見方について、子育て中のご家庭にはぜひ参考にしていただきたいと思いますので、呼びかけていただけたらと思います。

百瀬委員長

ありがとうございました。「弁当がやってきた」という本があるわけですね。

丸山委員

あります。

百瀬委員長

教育の内容がそこにあるわけですね。

丸山委員

はい。

百瀬委員長

職務代理、英語教育の関係は先ほども話しがあり、施策化されていますので提案はよろしいですか。

百瀬職務代理

はい結構です。

百瀬委員長

教育長も先ほど話しをしていただきましたのでよろしいですか。

藤村教育長

はい、いいです。

百瀬委員長

時間もなくなってきましたが、私から一言お願いします。

子ども達の基本的な生活スタイルを確立していただくことを、これは特に家庭にお願いをしたいということです。今、丸山委員さんからノーテレビデイについてお話がありましたが、それもその中の一つとして考えております。

今、学力向上や不登校を少なくする取り組みをどこの学校でもしていますが、その根底に子ども達が学ぶ喜びを知ることが必要になります。そのためには、百マス計算で有名な蔭山英男さんの本には、子ども達の基本的な生活スタイルをまず確立しないと、計算練習だけやってもだめだとの指摘があります。「早寝、早起き、朝ご飯」がキャッチフレーズとなっていますが、私もこれが一番大切ではないかと思えます。

そのような事を保護者の方、父親にも分かっていただくためにどのようなことができるかと考えたときに、蔭山英男さんを招き講演会をすとか、あるいは今のノーテレビデイの関係ですとNHKの放送文化研究所に清川輝基さんという、以前に長野放送局の局長をしていた方ですが「人間になれない子ども達」をタイトルとした講演を各地ですしています。私も講演を聴きましたが、やはり子ども達には、テレビを2時間以上観させてはいけないという考えを説いています。たとえばこのような方の講演会を開催すとか、教育委員会だけではできませんので学校とかPTA、あるいは青年会議所にも手伝っていただいて実行委員会をつくり、イベント的なものになりますがそれが一つのきっかけになればと思います。そのように考えていただくためのきっかけが教育委員会としてできたらというのが私の想いであります。

藤村教育長

先日、樋口室長から1冊の本を紹介していただいて、今、市長が一生懸命読んでいると思います。小さな頃のテレビの視聴によって脳に異常が起こり、今盛んに言われている軽度発達障害やLDやADHDの原因になっていると、斜め読みでいけませんそのような内容です。

やはりそのような怖さ、恐ろしさを啓蒙する中で、今のように「早寝、早起き、朝ご飯、テレビ観るのは1時間」というようなキャッチフレーズでやるのがよいかと思えます。現在は、テレビの見方が非常に問題だと考えています。

百瀬委員長

そんなことで、施策化できるかぜひご検討いただくよう想いを語らせていただきました。よろしくお願いします。

それでは、その他にありましたらお願いします。

山崎館長

お手元の資料にイベントのチラシが入っていますが、無料入場券を付けてありますので2月と3月の開催にぜひお出かけいただくようお願いします。

百瀬委員長

図書館の講演会のチラシも説明をお願いします。

神戸館長

委員さんには、チラシを郵送しておりますがよろしく申し上げます。

百瀬委員長

本日は、休憩なしで進めましたが、以上で1月の定例教育委員会を閉会します。
ご苦勞様でした。

6 閉 会

- 午後5時14分に閉会する。

以上

平成18年3月 日

署 名

委 員 長

同職務代理者

委 員

委 員

教 育 長

記 録 職 員 教育総務課
教育企画担当課長
